

松の湯の大黒様



立時期は不詳
ほかに、建
する農業の神。
作をはじめと
む山の神。稲
・：万物を育
・：万物を育
・：万物を育

現在の温泉神社は、開湯六十周年を
迎えた昭和四十五年（1970）に建
立したものです。
部 当時の祝詞の記録を見ると、温泉協
楽 同組合並びに温泉部落会が中心になり、
湯 「温泉の町の守護神」として永久に祀
の 松ることを宣言しています。
松 その十年後に、温泉神社境内に「稲
荷神社」を新たに建立し、祭神を分祀
しています。
温泉神社は「湯殿山大神」として、
次の三柱の神様を祀っています。
①「大口貴命」（おほなぐちのみこと）
・：大國主命、即ち大黒様のこと。縁
結び、商売繁盛の神として古来あがめ
られてきました。温泉神社では、この
神を主祭神として祀っています。
②「少彦名命」（すくなひこなのみこ
と）
・：智慧に優れた学問の神。
③「大山祇命」（おほやまつ
のみこと）
・：万物を育
む山の神。稲
作をはじめと
する農業の神。
ほかに、建
立時期は不詳



温泉神社境内

昭和十三年（1938）、町内の氏
子・有志によって「稲千稲荷大明神」
の講中を募り、この地に小さな稲荷神
社を祀ったことから始まります。
終戦間もない昭和二十一年（194
6）に、天童温泉開湯三十五年を記念
し、湯殿山の分神を受け、十月七日夜
当時の津山村長（温泉組合長）山口栄
吉の寄贈による万年堂に祀りました。

春は桜
秋は紅葉の
舞鶴山に

ですが、農耕馬などの動物供養塔とし
て、神社南側に「馬頭観音」が祀られ
ています。
天童温泉へおいでの際は、温泉神社
をご参拝ください。館主、今年から町
内会の役員で神社部を担当しています。

当館から歩いて十分のところにある
舞鶴山の愛宕沼が、現在親水公園とし
て整備中です（表の記事参照）。この
整備に合わせて、天童温泉協同組合で
は、開湯百周年の記念事業として、桜
の植樹と記念碑の建立を計画していま
す。記念碑は既に完成し、設置するば
かりになっていきます。
この中に記した碑文には、過去の記
録と将来へのメッセージを伝えたいと
いう思いをまとめたものです。
内容は次のとおりです。

碑文

「舞鶴山の桜は、明治三十五年（一
九〇二）に鈴木太助氏が東京から二千
本ものソメイヨシノの苗木を取り寄せ、
県下でいち早く植栽したことに始まる。
その後、彼の遺志を継いで、桜の山に
しようとした多くの先人たちの思いが、
今に伝えられている。

一方、大正十一年（一九二二）、舞
鶴山西斜面の旧矢場跡のすぐ上に、天
童尋常高等小学校の教員とその生徒た
ちが、荷車三台分のもみじの苗木を植
え、もみじ林としたことが記録に残さ
れている。「花の山形、もみじの天童」
と、花笠音頭にも歌われたその原点が
ここにあり、「市の木」制定のもとに
もなった。

美しい舞鶴山の自然の主役、それは
桜ともみじである。

市民の心のよりどころとして、また
四季を彩る貴重な天童の観光資源とし
て、これからも誇れるふるさとの山で
あり続けることを、私たちは切に願っ
ている。



天童温泉は、この度開湯百周年を
迎えた。これを記念して、シンボル
となるべき桜を植栽するとともに、
貴重な財産を後世へ引き継ぐメッセ
ージとして、ここに記念碑を建立する。」



舞鶴山の愛宕沼（現在改修工事中）



将棋供養塔のライトアップ



舞鶴山展望台から月山を望む



建敷神社の宮司さん



展望台からの眺め



なだらかな斜面を歩く



山頂広場・人間将棋の会場です

観光事業の一環として、クアオルト
（保養地）をイメージした舞鶴山のウォー
キングコースづくりを計画をしていま
す。
左に掲載の写真は、そのための事前
調査の様子です。
上山市から、気候性地形療法の専門
家・小関先生をお招きしての調査です。
館主も同行しました。



●天童の観光のメインイベント「人間将棋」は、
昭和三十一年から始まりました。第一回は、天
童市長と山形市長との対戦で、「将棋野試合」と
言っています。
当初、会場は舞鶴山中腹の「旧矢場跡」で行わ
れました。このように子供たちが駒となって、手
書きの紙の駒
を笠のように
被っています。
将棋盤も運
動会のように
ライン引きで
書いています。
観客は、右側
の土手の上か
ら見えます。
今は懐かしい
五十年以上前
の人間将棋で
す。

思い出のアルバム

●紅花と草木染
当館のHPでも紹介している山形の
草木染工房・瓶屋さんが、新しいパン
フレットを持ってきてくれました。
スカートやコサージュ、和紙やまゆ
の作品など、自然から生まれる色合い
はやさしく美しいものです。是非実物
をご覧ください。
工房のある「平清水」は焼き物の
里としても有名です。お時間を作って
お出かけになってはいかがでしょうか。



これまで四、七、九月の平日は、
サービス料金をお出ししてしました
が、現在はホームページのみのご案
内となっております。ご予約の際は、
「松の湯倶楽部」を見た旨お知らせ
下さいませ。
七月から九月末日までの平日、通
常料金から一〇%割引と乾杯ドリンク
をサービスさせていただきます。
また、八月は八月一日から十日まで
八月二十日から三十一日まで対応い
たします。
※他のプランや通常料金以外での
ご利用時は併用できませんので、
よろしくお祈り致します。皆様のお
越しを、心よりお待ちしております。

● 発行者
〒994-0025
山形県天童市鎌田本町2-2-54
TEL: 023-653-2265
FAX: 023-653-2207
H P: http://www.matunoyu.co.jp
天童温泉 湯の香 松の湯 森谷 智昭

※掲載の写真は、館主が撮影したものを中心に使用しています。